



ふくすく



読者からの投稿写真

全国1位

福岡県は、平成19年上半期（1～6月）の出生数が、対前年同期比で3.2%伸び、都道府県別増加率で全国1位となりました。少子化が進み全国の出生数が減少する中、福岡県の出生数が増加傾向にあること背景には、麻生知事がしっかり取り組まれている、子育て支援の施策や自動車産業をはじめとする産業育成に伴う新雇用創出施策の推進とともに、県内で取り組まれている様々な子育て支援活動の効果が考えられます。

本会では、平成17年から子育て支援事業推進室を設け、市町村社会福祉協議会が取り組む子育てサロン活動の支援や子育て支援者の養成に取り組んでいます。また、平成18年度からは仕事と家庭の両立支援を目的としたふくおか緊急サポートネットワーク事業を始めました。

本号では、福岡県の市町村別に見た出生増加率が一番伸びた久山町にある子育て支援センターの取り組みを紹介しています。

子育て中の親が楽しみながら子育てできる地域づくりをみんなで考えていきましょう。（子育て支援事業推進室）

もくじ

- 福岡県、出生増加率全国1位 2～3
- こども写真館 3
- 緊サポNEWS 4
- 第32回「数納賞」公募のお知らせ 4

福岡県、出生増加率全国1位

福岡県では、平成19年上半年（1～6月）の出生数が、対前年同期比で3.2%伸び、都道府県別増加率で全国1位となりました。出生数は2万3268人で前年同期（2万2551人）より717人増加しています。

厚生労働省の人口動態統計速報によると、全国の上半期の出生数は54万6541人で、前年同期（54万9255人）より0.5%減少している中で、福岡県は、平成18年の同期も平成17年から933人増加し、2年連続で増加しています。

市町村別での今年上半年（1～6月）の出生数が、対前年度比でも伸びた市町村は久山町の56%でした。今年上半年期の出生数は39人で前年同期（25人）より14人増加。

久山町の出生数増加の背景には、福岡市のベッドタウンとして新興住宅が増え、出産適齢期の方が増えたことが考えられます。



福岡県で出生増加率が高い市町村 BEST 5 (平成19年度上半期)

	市町村	増加率	増加数 (平成18年上半年 →平成19年上半年)
1位	久山町	56%	14人 (25人→39人)
2位	みやこ町	55%	24人 (43人→67人)
3位	東峰村	42%	3人 (7人→10人)
4位	宮若市	35%	40人 (113人→153人)
5位	福智町	24%	26人 (107人→133人)

県内出生増加率No.1久山町を紹介します

久山町子育て支援センターの取り組み

久山町の中心地にある、ひさやま保育園「杜の郷」は平成17年6月、町内初めての認可保育所（公設民営）として開設。集いの広場を併設した子育て支援センターを運営しています。

同センターでは、集団生活の経験がない就園前の子どもと保護者を対象に子育てサロンの運営、一時預かり保育を行っています。

子育てサロンに参加されているお母さんは、「去年の4月に初めて参加しました。あそび会や園庭開放事業があるのは知っていたけど、なかなか足が進みませんでした。」

でも、自宅の周りには公園など親子が集まって遊べる場所がなく、子どもが一歳過ぎて歩き出したところに、『子どもも同年代の友達を作ってあげたい』と思い、緊張と不安の中参加しました。

初めての人でも気軽に遊びに行ける雰囲気ですぐにお友達ができました。子どもも、緊張することなく、自然にその場の雰囲気にも馴染んでくれました。

今では、あそび会に行くのを毎回来しみにしていて、保育園の前を通ると、『保育園、保育園』と教えてくれます。今後、いつでも好きな時に行けて、そこに行ったら必ず親子に会える、そんな場所ができて欲しいと思います。」と話されました。



今日は何をして遊ぶのかな？

☆子育て支援【あそび会】☆

集団生活の経験がない就園前の子どもと保護者を対象にひさやま保育園「杜の郷」で開催。

○対象 在宅の乳幼児と保護者

○開催日時 毎月第1水曜日
10時受付開始 12時終了

○事業内容

絵本講座(エルマー)、七夕さま、水遊び、親子体操教室、芋ほりなど毎月季節に合ったメニューで親子が楽しく遊んでいます。また、子育てに関する相談も行われています。

また、子育て支援センターの職員の方は、「お母さん方の声を大切に、いつでも、たくさんのお母さんが集まれる場所作りに取り組みたい。」と話されています。

それぞれの地域によって、子育ての環境、実情は異なります。久山町では、子育て支援センターが、子どもが安心して遊べ、子育て中の親同士の情報交換の場、育児相談の場として定着し、地域における子育ての役割を総合的かつ積極的に担っています。今後さらさら地域での子育て支援の充実が求められています。

出生増加率全国1位となり、子育て支援事業推進室では、これからも行政や市町村社会福祉協議会など様々な関係機関と連携しながら、子育ての楽しさを伝え、笑顔の子育てができる福岡県となるよう、地域での子育て支援に積極的に取り組んでいきたいと思います。

☆一時預かり保育☆

保護者の勤務形態(週1~3日程度のパート就労等)による一時的な保育や、保護者の疾病・入院等による緊急時の保育を支援する保育事業です。また、急な用事(地域の出事や学校行事等)や育児疲れ解消等のためにも利用できます。

○対象 保育園に入園していない乳幼児

○利用料金

利用時間	3歳未満時	3歳以上児
半日	2,000円	1,500円
1日	3,500円	2,500円

☆子育て支援【園庭開放】☆

集団生活の経験がない就園前の子どもと保護者を対象にひさやま保育園「杜の郷」で開催。活動メニューはなく、就園前の子どもと保護者が対象の子育てサロン「なかよしひろば」と、1歳未満の子どもと保護者を対象にした子育てサロン「赤ちゃんの部屋」が交代で、開放された園庭や子育て支援センターに遊びに来ます。

○対象 在宅の乳幼児と保護者

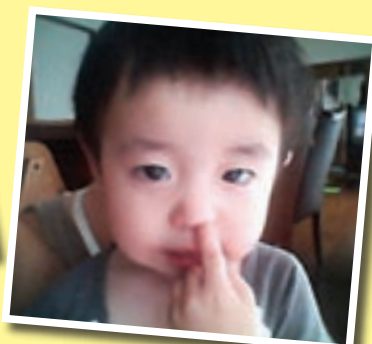
○開催日時 毎週水曜日(第1水曜日を除く)
10時受付開始 12時終了



子ども写真館



食欲の秋 お腹一杯食べて たくさん遊ぼう♪♪





緊急サポート NEWS



大募集!!

地域で子育てのお手伝いしたい方
子育てのお手伝いをしてほしい方

福岡県社会福祉協議会では、お父さん、お母さんの仕事と子育ての両立を支援するため、ふくおか緊急サポートネットワーク事業に取り組んでいます。

そこで、お父さん、お母さんが、仕事で熱がでてしまった子どもを保育所に迎えに行けないなど、緊急の時に、子どもを預かっていただける援助会員を大募集!!ただ今、援助会員登録のための研修会を開催しています。(5日間の研修になります。)

また、この事業を利用したい方(依頼会員)も募集中です。依頼会員の登録をご希望の方は、事業説明、登録のための説明などを行います。詳細は、センターまでお問い合わせください。

援助会員登録研修会 日程・会場

- 太宰府市会場
期日 平成19年12月7日(金)、12日(水)
13日(木)、14日(金)、20日(木)
会場 太宰府市いきいき情報センター
- 筑紫野市会場
期日 平成20年1月10日(木)、12日(土)
26日(土)、28日(月)、31日(木)
会場 筑紫野市総合保健福祉センター
「カミーリヤ」
- 大野城市会場
期日 平成20年2月10日(日)、11日(月)
13日(水)、19日(火)、20日(水)
会場 大野城市社会福祉協議会

ふくおか緊急サポートセンター

福岡県社会福祉協議会子育て支援事業推進室
TEL 092-584-3785

第32回「数納賞」

公募のお知らせ

財団法人児童健全育成推進財団では、児童健全育成に関する優れた実践報告者に対し褒章を行うため、数納賞の公募を行います。

対象 児童の健全育成に関し、児童福祉施設(児童館、児童養護施設等)、地域組織(母親クラブ、子ども会等)、家庭相談員、里親等の活動の具体的実践報告者

応募のしるし

400字詰め原稿用紙で本文30枚
(12,000字)程度

募集期間

平成19年11月30日(金)まで

授賞

数納賞1編(賞金30万円)
同佳作4編(賞金5万円)

数納賞に関するお問い合わせは、左記まで。

財団法人 児童健全育成推進財団

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-53

1

こどもの城10階

電話 03-3486-5141

大募集!



「ふくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。

皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)

この情報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。



夏の猛暑がうそのように、朝夕が涼しくなり、気持ちのよい季節になりました。秋の澄んだ空を眺めていると、何か新しいことを始めてみようかという気になります。そこで、先日、福岡市で開催されたシティマラソン福岡に参加しました。中学生からお年寄りまで3000人が秋晴れの空の下、走りました。もともと走ることに苦手な私は、参加されていたおばあさんから追い抜かれる際に「がんばれ」と声をかけられる始末。そして、そのおばあさんの背中を見ながら、何とか完走しました。私もあのおばあさんのように、何歳になっても元気で、何事にも挑戦していきたいものです。

最近、家庭を持つ者として、とても実感していることがあります。それは、仕事をしながら、家庭をまもっていくことの大変さです。この仕事を終わらせてから帰ろうと思いつつも、家族が待っているから急ぎ足で帰ります。今はまだ子どもがいませんが、子育てを始めたら、近くに親がない私たちは、家族だけでは不安に思うこともあります。だからこそ「地域で子育て」は、本当に大切なことだと思います。本誌では、子育てサロンをはじめ、子育て支援に関する情報を提供していますが、支援を必要としている人、支援活動を行っている人の声を伝えていきたいです。

(かわかみ)